



『仕事とがん治療の両立お役立ちノート』を知っていますか？



標記の冊子は、平成29年度の厚生労働省科学研究費補助金事業により、国立がん研究センター中央病院が中心となって作成したもので、働く世代のがん患者さんが、仕事とがん治療の両立を考えたときに直面するであろう困りごとや、対処の仕方、整理しておくことなどがわかりやすくまとめられています。

がんと診断されたときには、仕事のこと、生活のこと、家族のこと、今後の治療のことなどが頭の中に湧いてきて、どこから整理していけばいいかわからなくなってしまうのではないのでしょうか。

この「お役立ちノート」は、診断時や再発時の状況の整理、治療の方法や職場復帰までの期間の確認、治療内容や休職を職場に伝える工夫、治療をしながら就労が可能になった時の復職に向けての注意点、復職後に働きながら治療を受けるときの工夫、新たに仕事を探すときに整理しておくこと、仕事と治療の両立に役立つ情報・相談先一覧という構成になっていて、仕事と治療の両立を考える節目ごとに状況を整理することができるようになっています。

がん相談支援センターに仕事と治療の両立について相談に来られた患者さんにもお渡ししていますので、ご興味がある方はお立ち寄りください。



信頼できるがん情報を探そう！

正しい情報を探ることが難しいと感じることはありませんか？

がんの情報だけでなく、健康に関してもテレビやインターネットなどの情報にあふれる時代、どのように信頼できる情報を探していくか悩まれる方が多いです。がん相談支援センターでは、国立がん研究センターがん対策情報センターで発行している『がんの冊子』を用いて情報整理を手助けすることがあります。それぞれのがんについて、疑われた時からの検査や治療、治療後の生活に至るまでの情報が掲載されています。他にも小児がんの冊子や、家族ががんになった時の「社会とがん」シリーズや「がんと療養」「がんと仕事のQ&A」の冊子もあります。

より詳しい情報はインターネットの**がん情報サービス**<https://ganjoho.jp>でもご覧いただけます。現在は【**がん患者や家族、周りの人へ：新型コロナウイルス感染症の感染拡大に際して**】のお知らせが掲載されています。がん相談支援センターで冊子や資料の提供もできますので、どうぞお気軽にご相談下さい。お電話でもご相談できますので、ご利用ください。



がんの冊子

お知らせ

6月開催予定のワーキングサポート（仕事に関する相談・勉強の会）は、新型コロナウイルス感染防止のため、ご参加者の健康面と安全面を最優先に考慮し、**中止**となりました。当センター主催の今後のイベントは、新型コロナウイルス感染状況の改善の程度を鑑みて開催を決定いたします。なお、開催日程はホームページや院内掲示にてご案内いたしますのでご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

東京都板橋区大谷口上町30-1 電話3972-0011（直通） 3972-8111（代表）内線3169
相談対応時間 8：30～12：00、13：00～16：00 予約受付時間 8：30～16：30